

## 第27回下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成25年11月14日(木) 午後1時30分～4時30分  
場 所 下野市役所国分寺庁舎 304会議室  
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、吉田良一委員、飯野洋委員、  
水上美紀委員、長光博委員、大木徳委員、園部小由利委員、中林佳子委員  
出席者 鶴見教育次長、川俣学校教育課長、高橋学校教育課主幹(指導主事)、  
斉藤学校教育サポートチームコーディネーター、蓬田文化課長、  
川嶋文化課長補佐、渡辺スポーツ振興課長、坪山スポーツ振興課長補佐  
事務局 落合総合政策部長、小口総合政策課長、小谷野主幹兼課長補佐  
山内主幹、坂巻副主幹  
傍聴者 なし

### ○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 会議録署名人の指名
  - (2) 行政評価市民評価3事業ヒアリング
    - ①学校教育サポート事業(教育委員会)
    - ②芸術文化事業(教育委員会)
    - ③陸上競技場整備事業(教育委員会)
  - (4) その他
- 4 閉 会

### ○あいさつ

(杉原会長) 前回到引き続き宜しくお願いします。

### ○議事

#### (1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 今回の会議録署名委員は、飯島委員と関口委員にお願いします。

#### (2) 行政評価市民評価3事業ヒアリング

(杉原会長) それではヒアリングに入ります。

[教育委員会出席者自己紹介]

[教育次長から教育委員会の概要及び評価対象事業の位置づけの説明]

##### ①学校教育サポートセンター事業

[学校教育課長から説明]

(学校教育課長) 学校のみでは解決困難な問題に関し、学校・児童生徒・保護者に対し、組織的・包括的でより有効な支援を行えるよう、市教育研究所の相談事業(学校における教育相談のサポート、適応指導教室「スマイル」、

就学・特別支援教育相談、学校教育サポートチーム)を学校教育サポートセンターとしてセンター化し事業の更なる充実を図っています。スマイル教室が大松山運動公園近くのNTT研修施設を借りて移転することに伴い、サポートセンターも同場所への移転を予定しています。(詳細はヒアリング資料参照)

- (杉原会長) 詳細な説明がありました。それでは委員の皆様から質問がありましたらお願いします。
- (大木委員) サポートセンターが石橋地区に設置されるとのことですが、国分寺地区や南河内地区に決まった曜日に移動して、相談業務を行う予定はありますか。
- (学校教育課長) この場所に来ればいつでも相談できますということ、多くの方に知っていただくことが先決ですので考えていません。
- (関口委員) 今年度からセンター化されたとのことですが、事業内容は変わったのですか。
- (コーディネーター) 事業の柱はそのまま継続しています。センター化されたことにより、複合的な問題に関してそれぞれの担当者の連携が更に濃くなったと考えています。
- (関口委員) 今まで連携が疎だったものが密になったということですか。
- (コーディネーター) 今までも緊密に連携しておりますので疎だったわけではなく、より相談業務が充実してきたと思っています。
- (関口委員) 委託料の定期施設清掃等とは、NTT施設の清掃代のことですか。
- (学校教育課長) NTT施設を賃借するに当たり、年に数回業者の清掃を行うことが条件となっているため予算化しました。普段は児童・生徒が清掃を行います。
- (関口委員) 従来は公共施設を使用していたので、清掃委託料はなかったということですね。
- (学校教育課長) そうです。
- (関口委員) センター化したことによる職員の増減はありましたか。
- (コーディネーター) 増減はありません。
- (学校教育課主幹) 先程の新しい事業についてですが、ホームスタディー事業は今年度からの事業になります。
- (関口委員) 職員の人数が同じでも新しい事業ができたということですか。
- (学校教育課主幹) 担当者同士がより連携したことで新しい事業も可能になったということです。
- (園部委員) 児童・生徒の相談件数について、学校の規模が大きいのに相談件数が少ない、逆に学校の規模が小さいのに相談件数が多いものが見受けられますが、相談内容からどのように問題の解析をされ、こういった取組に繋げているのでしょうか。
- (コーディネーター) 教育相談員が今年度からセンター所属になったことにより、各校の問題をセンターに持ち寄って、センターの相談員も含めて対応・支

援の方法を協議したり、解決に向けて情報共有しながら支援活動をしています。センター化されたことにより昨年度以上に充実してきていると考えています。

(園部委員) 相談件数が多い方が、結果的には大きな問題にならず解決されていると思います。不登校など問題件数が多いが相談が少ない学校にも働きかけはしているわけですね。

(学校教育課長) 相談件数は相談員からの報告を集計しただけでありますので、対応に違いはありません。子どもたちと相談員が常日頃から接することが重要と思っていますので、今後も研修等含めて活発な活動ができる体制を目指していきます。

(吉田委員) 電話・面接相談事業というのは、相談を受けた後、解決に向けた対応はどのようになっていますか。また、相談内容によってはすべてが解決するとは思えませんが、解決・未解決までの分析などはされているのでしょうか。

(コーディネーター) 相談内容によっては、センターの中での職員の協議・検討によって問題解決のアドバイスをして終わる場合や、状況に応じてあらゆる関係機関と連携しながら、橋渡しという役目も非常に重要な支援業務と考えています。解決までの分析については、年度途中・年度末に事業のまとめを実施していますが、その都度支援会議を開催しています。結果は学校教育課に報告することになっています。

(吉田委員) 解決・未解決・保留の件数はどのくらいでしょうか。

(コーディネーター) 解決は6～7割程度、年度を越すような案件は4割程度あります。

(中林委員) 事業報告書の中に中学校の記載がありませんでしたが、中学校での相談・支援事業はどうなっていますか。また内容等の把握は行っていますか。

(学校教育課主幹) 中学校はスクールカウンセラーが各学校1名配置されており、相談・支援を行っています。こちらは県の事業となりますが、内容等は教育委員会に月ごとに報告されています。

(中林委員) 問題の傾向等はどうですか。

(学校教育課主幹) やはり中学生の方が内容が深い問題が多いと感じます。スクールカウンセラーは保護者との面談も多くなっている状況です。

(飯島委員) N T T施設への移転は今後賃借料等が毎年必要となります。市の空き施設など他の検討はされたのでしょうか。

(学校教育課長) 市の施設については関係課も含めかなり検討しましたが、現時点では有効な空き施設がありませんでした。

(飯島委員) スマイル教室に通われている子どもが12名とのことなので、サポートセンターは石橋庁舎に残して、スマイル教室の運営だけであれば、市内の空き家などでも対応できたのではないのでしょうか。

(学校教育課長) スマイル教室は現在は12名ですが、多い時では20名近くになる場合があります。最低2教室は必要と考え、職員の部屋、男女別のトイレなど勘案し、N T T施設と決めました。

- (水上委員) サポートセンターの土日・時間外の対応はどうか。
- (コーディネーター) 非常勤職員の勤務時間の中で、事前に連絡があれば時間外の対応は調整させていただいておりますが、土日の対応は特別な事情を除いて行っていません。
- (杉原会長) 相談事業においては個人情報の保護が大変重要となっています。個人情報の取り扱いについては、その状況を次回までに報告いただきたいと思えます。
- それでは学校教育サポート事業についてのヒアリングは終了します。

## ②芸術文化事業

[教育次長から評価対象事業の位置づけの説明]

[文化課長から説明]

- (文化課長) 市民が様々な芸術文化に触れることにより、心豊かに暮らすため文化振興活動の活性化を図るための市民芸術文化祭の開催、自主事業運営の推進及び市民の芸術文化活動への参加を促進し、地域文化の担い手を育成するための文化協会への支援、子どもの豊かな心や感性、創造性やコミュニケーション能力を育むための小中学生を対象とした芸術文化鑑賞会を実施し、市の文化芸術活動の推進を図っています。(詳細はヒアリング資料参照)
- (杉原会長) それでは、質問等お願いします。
- (飯島委員) 下野市文化協会の予算は会費と市の補助金ですか。総額はいくらですか。
- (文化課長) 個人・団体の会費と市補助金で、総額約170万円です。
- (飯島委員) 文化協会という下野市の文化を担う団体としては、予算が少なく大変だなと思えます。
- (関口委員) 文化協会の会員が減っている理由として高齢化も挙げられていますが、23ある専門部それぞれで会員が減少しているのでしょうか。
- (文化課長) 団体として会員の維持が出来なくなって、文化協会を抜ける場合があり、部自体が減っています。
- (長委員) 文化活動を披露する舞台がないのが現実だと思います。文化会館などを、新庁舎の一角に建設するなどの予定はないのでしょうか。
- (教育次長) 文化会館については、使用意図や維持管理などについて、しっかりした長期的な計画を立てて検討していこうということで、現在調査を開始したところです。文化祭では会場が分散されてしまっていますが、ご苦労されながらも和気あいあいと発表されている感じもします。
- (長委員) 別々に造ろうとすると、それぞれお金がかかりますので、何かの建物に同居するような形で建設できないのでしょうか。
- (総合政策部長) 新庁舎については、様々な検討がなされた中の一つとして、文化会館もあわせて建設したらどうかという意見があったことも確かです。しかし、最終的には文化会館については協議から除いて新庁舎について

検討するという方向性を見出して、現在まで事業を進めています。新庁舎の中に文化会館的な機能を持った大きなホールを造る予定はありませんのでご理解ください。

(関口委員) 文化祭は、公民館、体育館、グリムの館などいろいろな場所で行っていますが、教育委員会として、それぞれの施設の役割をどのように考えているのでしょうか。

(教育次長) 文化祭の会場活用については、それぞれの館の機能を考慮して使用しています。

(関口委員) いろいろな施設で開催していることは感心するのですが、核となるような施設を使用して、もっと大々的にPRに取り組むべきなのではないのかなと思います。

(文化課長補佐) 文化祭の運営については、毎年文化祭終了後にアンケート調査を行い、また年度末に来年度の会場等について意見交換しています。

(大木委員) 文化祭の開催時期には、市の他のイベントもたくさんやっています。相互にタイアップしたりはしてるのでしょうか。

(文化課長) 今後、様々な連携を模索したいと思います。

(大木委員) それぞれのイベントでは予算が限られていると思うので、うまくタイアップして、限られた予算の中で最大の効果が発揮できるような運営を目指して欲しいと思います。

(杉原会長) 小中学校での鑑賞会は素晴らしい事業だと思います。子どもたちの感想などはあるのでしょうか。またアンケートの集計はどうですか。

(文化課長) 感想はだしてもらっています。アンケートの集計は行っていません。

(杉原会長) 文化活動全般に言えると思いますが、アンケートなどは結果をグラフにして、今後の参考にされたらいいと思います。鑑賞会以外はどうでしょうか。

(文化課長補佐) 文化祭などはアンケートを集計・分析して、次年度の改善につなげるようにしています。

(杉原会長) 文化祭に関しては、マンネリ化を避けるためにも、何年かに1回は大きな事業を手掛けてもいいのではないかと思います。費用はかかるとは思いますが、必要なことだと思います。過去に例はあるのでしょうか。

(文化課長) 大きな事業はありません。今後市として、市制10周年にあわせた事業を考えているようです。

(杉原会長) 市民の立場からすると、毎年文化祭をそのまま続けるだけでは事業規模は縮小していってしまうと思いますので、時には新しいイベントも必要かと思います。

他になければ、これで芸術文化事業のヒアリングを終了します。

### ③陸上競技場整備事業

[教育次長から評価対象事業の位置づけの説明]

[スポーツ振興課長から説明]

(スポーツ振興課長) 平成24年度に策定された下野市スポーツ活動拠点整備基本構想

において、スポーツ活動の拠点となる公園、公園緑地機能を備え健康づくりの場となる公園、広域避難地としての公園の3つを基本的な考えとし、本市スポーツの普及、振興の拠点となり、市民に広く親しまれる施設を目指し、大松山運動公園の既存施設を有効活用した施設整備を進めています。(詳細はヒアリング資料参照)

- (杉原会長) それでは、質問等お願いします。
- (水上委員) 初めにヒアリングを行った学校教育サポートセンター・スマイル教室が、大松山運動公園と隣接しているのですが、この整備計画の中に、不登校児のための施設、サポートセンターの建設を加えることはできるのでしょうか。
- (教育次長) 隣接していますので、野外活動などでは利用できますが、専用施設としては使用目的が違うため、一緒の整備は考えていません。
- (飯島委員) 大松山運動公園を整備しようとした主な理由は何ですか。国分寺運動公園であれば周りが農地で開発しやすいと思いますがどうでしょうか。
- (スポーツ振興課長) 別所山・国分寺運動公園の周辺農地については農業振興地域の優良農地ですので、開発はなかなか難しい状況です。大松山運動公園の周辺農地については、農業振興地域での農地には指定されておらず、農地転用が原則可能となっています。また、合併特例債を活用する事業であるため期限も決まっており、昨年度開催された検討委員会の中で総合的に判断し、議会に報告し了解いただきました。
- (飯島委員) 合併特例債を期限内で活用するために、時間的に早く実施できる大松山運動公園にしたということですか。
- (スポーツ振興課) 優良農地の農地転用は難しいことも理由の一つで、もちろん合併特例債を有効活用しようということも理由の一つです。大きな事業を市単独で行うことは厳しい状況です。
- (飯島委員) 合併特例債はいずれ返還するものだと考えますと、期限内に利用しなければという考えはどうなのでしょう。
- (スポーツ振興課長) 合併特例債は、普通の地方債と違い大変有利な資金です。充当率が95%で、その内70%が普通交付税として算定され、実質市は30%の負担となります。合併特例債ありきではありませんが、大変有利な資金だと考えています。
- (関口委員) 現在の大松山運動公園の面積が6.6haで、整備後倍の面積となっています。400mトラックを造るという話は聞いていましたが、なぜここまで大きな公園となってしまったのでしょうか。
- (スポーツ振興課長) 全天候型の公認トラックを造ろうとすると、外周も含めた整備が必要です。また、防災や緑地の活用も含めた整備を検討した結果の面積となります。
- (関口委員) 現在も周りには緑があって、有効利用すれば現在の面積を倍まで拡大するという必要性が本当にあるのでしょうか。トラックの必要性は十分理解しているつもりですが、整備面積が大きすぎると感じます。

(スポーツ振興課長) 詳細な図面がお示しできないので申し訳ありませんが、陸上競技場だけを造ればいいという訳ではなく周辺整備も必要です。将来を見据えた総合的な運動公園の整備を目指しているため、この規模となっています。今年度実施している基本計画の中で、より具体的な計画をお示しできる予定ですのでご理解ください。

(水上委員) パブリックコメントは、いつ頃の予定ですか。

(スポーツ振興課長) 諸手続きを踏んだ後、来年2月初旬を予定しています。

(水上委員) 資料を基に考えると、なぜこの規模の整備が必要か、なぜ事業費もこれ程かかるのかと疑問が多いです。パブリックコメントで意見があれば回答はいただけるのでしょうか。

(スポーツ振興課長) 基本計画は、スポーツ関係団体や市民公募からなるスポーツ活動拠点整備検討会において協議・検討して素案をまとめているものですので、その点もご理解ください。またパブリックコメントについては、制度上のものであり、意見に対しては回答することとなっています。

(総合政策課長) パブリックコメントについては、個々の意見に対して直接の回答は行いませんが、同趣旨の意見をまとめて回答し、一括してHP等で公表することになっています。

(杉原会長) パブリックコメントについては、同趣旨のものはまとめて回答することになりますが、意見を言っても仕方がないというものではありません。

(水上委員) 三王山公園整備事業のパブリックコメントがゼロ件だったので心配でした。

(杉原会長) ゼロ件もめずらしいことではないと思います。市民が無関心という側面もありますが、パブリックコメントを行う段階で、その素案については、委員会等で市民の意見を反映し、また議会への説明、市民への説明も十分に行われて計画されていると考えることもできます。

(水上委員) パブリックコメントは重要だと思いますので、有意義な活用方法を考えて欲しいと思います。

(杉原会長) この委員会での委員の皆様の発言も、ある意味パブリックコメントの一つだと考えることもできます。

(飯野委員) 最近の報道で、正式な陸上競技大会を開催する場合にはサブグラウンドが必要とのことでした。公認のトラックを整備するという事であれば、サブグラウンドの整備も視野に入れているのでしょうか。そうであれば、先程から議論されている整備面積については、必要であると考えられますがいかがでしょうか。

(スポーツ振興課長) 公認トラックは1種から4種まであります。今回4種公認を目指していますが、規模的には将来は3種公認が取得できるレベルの整備を行う予定です。サブトラックというよりは、多目的グラウンドの整備を視野に入れて計画を策定する予定です。

(飯野委員) これまでの議論の中で面積の大きさが指摘されていますが、その説明

として、サブトラック・多目的グラウンドの整備が必要であるということを出してもいいのではないのでしょうか。将来的なことを考えて、これだけの面積が必要という方針をしっかりと示して頂ければ皆さん納得するのではないかと思います。

(長委員) 具体的な施設の配置図など示していただけないのでしょうか。

(スポーツ振興課長) 現在基本計画が決定されていませんのでお示しできません。ご了承ください。

(園部委員) 大松山運動公園にあるテニスコートは4面しかないため大会が開催できません。駅からのアクセスも良く利用頻度も高いと思いますので、6面に再整備するということは可能でしょうか。

(スポーツ振興課長) 市内の運動公園については、大松山運動公園だけを整備するという訳ではなく、施設の特徴を生かした既存施設の活用を今後どうするか課題になっています。今後の検討の中で地域の特色を生かした3施設の内容を詰めていきたいと思っています。

(大木委員) 総事業費については、様々な自治体で毎年議会で増額になっていくケースがあると思います。下野市では、今回示されている総事業費19億円の中で何とかやってもらえればと思います。また、完成が東京オリンピックの前年になりますが、東京オリンピックのことは念頭にあるのでしょうか。

(スポーツ振興課長) 事業費の件ですが、詳細設計をしてない段階での数字ですが、造るべきものは造り削減できるものは削減し、公表している以上は想定事業費を目安に事業費の削減に努めていきたいと考えています。また、造る以上は、子どもたちに夢のある施設として、オリンピック、国体を見据えた有効活用を関係機関に働き掛けていくことは当然と考えています。

(杉原会長) 栃木県がオリンピックのキャンプ場等の誘致の検討を始めたようです。それに手を挙げるためには、ある程度の施設整備は必要になってくると思います。

(スポーツ振興課長) 市内に大型の宿泊施設はありませんが、宇都宮市からも小山市からも交通アクセスがいため、今後関係機関に働き掛けていきたいと内部で検討をはじめたところです。

(水上委員) オリンピックも国体も夢のある話ですが、その先も末長く見据えて、市民が有効利用するためにはどうしたらいいかというものを一番念頭において、無駄なものは造らない整備を行ってほしいと思います。

(杉原会長) それでは時間ですので、陸上競技場整備事業のヒアリングを終了します。

[教育委員会職員退席]

(杉原会長) 本日の3事業のヒアリングが終了しましたので、意見交換に移りたいと思います。



- (水上委員) 整備事業のような目に見える事業ではないですが、学校教育サポート事業のような児童生徒の相談、不登校児のサポート事業に、人件費等で予算を多くつけていただけたらと思います。小中学生が下野市の学校は楽しかったと思えるような事業展開と、そういった事業への手厚い財政支援が必要と考えます。
- (飯島委員) 学校サポート事業はヒアリング資料のみだと事業内容が良く分かりませんでした。本日は追加資料に基づいて詳細な説明があったので良く分かりましたが、事前資料について、もう少し工夫してほしいと思います。
- (総合政策部長) 事前にこういったことが分かる資料が欲しいということがありましたら、担当課にも伝えますのでご連絡ください。
- (吉田委員) テニスコートについては、4面では1日で大会が終わりません。通常は6面から8面あり、4面のテニスコートは珍しいと思います。もし改修が可能なら、検討してほしいと思います。
- (総合政策部長) 大松山運動公園は現在のスペースだとプールなどがあり難しい状況だと思います。またスポーツ振興課長から説明があったように、他の施設も念頭に入れた整備が必要と考えています。各事業の意見については、評価シートにご記入いただければと思います。

#### (4) その他

- (杉原会長) その他について事務局からお願いします。
- (事務局) 次回は11月21日(木)午後1時30分からの開催です。ヒアリング資料を本日配布しますので、次回お持ちください。
- (杉原会長) 本日の会議はこれで終了いたします。

以上